

# 生涯学習社会と大学図書館

糸賀 雅児

慶應義塾大学文学部教授

## 1. 大学のおかれた社会的状況

- ・大学の構造改革（平成13年） 国立大学の再編・統合 地域貢献、社会貢献の視点
- ・「変わる大学図書館」（平成16年4月27日）
  - ? 8割の図書館が時間外開館を実施、開館時間も着実に延長！
  - ? 国立大学の約4割が図書館・室の24時間開館を実施！
  - ? 一般市民等への公開は、ほぼ定着（98.2%が実施）
  - ? 電子ジャーナルの購読が急加速！（5年間で77.5倍）
- ・「開かれた大学」- 大学の地域開放、地域貢献、社会人学生受け入れ

本音は、「18歳人口の減少」「大学改革の必要性」「大学の生き残り戦略」

## 2. わが国における「生涯学習」の概念 資料1

cf. 岡本 薫『新版 入門・生涯学習政策』全日本社会教育連合会、1996年

cf. 糸賀 雅児「いま、なぜ、どう学ぶのか」『学遊園』no.1,p.49,1997年

- ・「意図的学習」と「偶発的学習」
- ・「学ぶ」と「分かる」

「結果として学習を伴わなかった、心の豊かさや生きがいのための活動」を  
「生涯学習」に含めるかどうか？

**【資料1】**

### 3. 生涯学習社会の実態

- cf. 総理府『生涯学習に関する世論調査』（平成4年2月調査）
- cf. 総理府『生涯学習に関する世論調査』（平成11年12月調査）
  - ・30代の女性を中心に学習意欲は高い
  - ・目的は「趣味を豊か」「他人との親睦」「人生を有意義に」と情緒的
  - ・最近では、ボランティアやNPOも活躍
- cf. 富山インターネット市民塾 <http://toyama.shiminjuku.com/>

「結果として学習を伴わなかった、心の豊かさや生きがいのための活動」も  
「生涯学習」に含めるべきではないか？

### 4. 大学図書館としての取り組み

- cf. 金城 守“ 琉球大学附属図書館におけるボランティア活動 ”『図書館誌』vol.97, no.11, p.786-787, 2003年
- cf. 澤田 外行“ 法政大学多摩図書館 - 地域開放を中心として - ”『情報管理』vol.46, no.5, p.324-325, 2003年
- cf. 稲葉 洋子“ 香川医科大学附属図書館と地域への開放；地域に根ざした学術情報支援 ”『医学図書館』vol.48, no.4, p.350-355, 2001年
- cf. 近藤 武士“ 関西学院大学図書館の一般公開について（事例報告） ”『図書館誌』vol.93, no.9, p.802-803, 1999年
- cf. [特集] 大学図書館の地域開放 『図書館誌』vol.94, no.10, p.768-781, 2000年

#### 4.1 大学図書館の地域開放

- ・閲覧、貸出を中心としてサービス
- ・利用条件と課金
- ・公開講座との連携
- ・第三者評価への住民参加

#### 4.2 大学図書館の地域貢献

- ・情報リテラシー育成（横浜市立大学、東京農工大学）
- ・地域ボランティア導入（筑波大学、琉球大学）
- ・放送大学や通信教育（e-ラーニング）で学ぶ学生への支援

#### 4.3 公共図書館との連携

- ・相互貸借(ILL)
- ・協力レファレンス(地域資料、行政情報)
- ・資料電子化、オンライン雑誌購入におけるコンソーシアム形成

### 5. 公立図書館の「望ましい基準」における大学図書館との関連

#### 5.1 「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

- ・図書館法第18条にもとづく
- ・文部科学大臣が告示(平成13年7月18日)した基準
- ・「地域の情報拠点」をめざす  
(新しい情報通信技術の活用)(職業能力開発のための要求への対応)
- ・ビジネス支援図書館、大学発ベンチャー支援

#### 5.2 大学図書館との連携

- ・総則(5) 他の図書館及びその他の関係機関との連携・協力
- ・都道府県立図書館(4) 図書館間の連絡調整等

### 6. 文部科学省の図書館政策における大学(図書館)への期待

#### 6.1 『2005年の図書館像～地域電子図書館の実現に向けて～』

文部省地域電子図書館構想検討協力者会議報告(平成12年12月)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/12/12/001260.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/12/12/001260.htm)

- ・地域電子図書館の具体的なイメージをシナリオ仕立てで描く
- ・四色カラー印刷、イラスト入りの画期的報告書

#### 6.2 『今後の生涯学習の振興方策について(審議経過の報告)』(平成16年3月) 資料2

- ・社会人の受入れの拡大
- ・職業能力の向上につながる学習支援に向けた連携(ネットワーク、コンソーシアム)強化

### 7. 生涯学習社会実現に向けた大学図書館の課題

- ・利用対象、提供サービス、課金によるサービス・コントロール
- ・資金調達(fund raising)の工夫、競争的資金の獲得
- ・インターネットによる情報発信(所蔵情報、e-レファレンス、リンク集)
- ・生涯学習支援、地域貢献の評価法
- ・学内でのコンセンサスづくり

## 【資料2】